

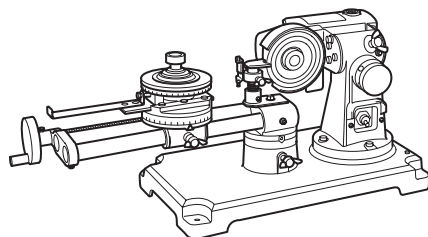


取扱説明書

チップソー研磨機

(木工用チップソー専用)

モデル 9803



本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはチップソー研磨機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ チップソー研磨機ご使用上の注意	10
・ 各部の名称	12
・ 標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	14
・ 使い方	15
・ ダイヤモンドホイールの取り付け・取りはずし方	15
・ ブレードベースの高さ調整	15
・ ツールレスト	16
・ すくい面の研磨	17
・ 角度調整	17
・ ツールレストの調整	18
・ 研磨方法	19
・ 逃げ面の研磨	21
・ 研磨方法	22
・ 研磨方法	24
・ ドレッシング（目出し）	24
・ 保守・点検について	25
・ カーボンブラシの交換	25
・ 注油	25
・ 修理の際は	25

主要機能

主要機能	モデル	9803
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相 100 V	
電流	2 A	
周波数	50-60 Hz	
消費電力	190 W	
回転数	5,500 min ⁻¹ (回転 / 分)	
本製品寸法	長さ 546 mm × 幅 200 mm × 高さ 236 mm	
研磨能力	外径	120 ~ 500 mm
	台金の厚み	4 mm まで
質量	11 kg	

- ・ 本製品は木工用チップソー専用の研磨機です。
- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

＜異常・故障例＞

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

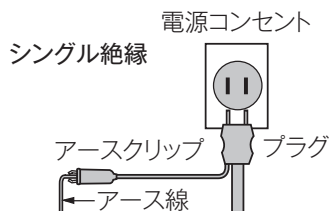
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

チップソー研磨機ご使用上の注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、チップソー研磨機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。接地する場合は本製品のベース部に付いているアースネジで行います。アース線に異常のないことを確認してください。
 - ・ テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたらアース線と機械本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
 - ・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
※アース線をガス管に接続すると爆発の危険性があります。絶対にしないでください。また、接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に接続されますことをおすすめします。
 - ・ 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第 333 条・第 334 条
電気設備の技術基準 第 18 条・第 28 条・第 41 条
2. ホイールカバーを必ず取り付けてご使用ください。
3. ダイヤモンドホイールにひび・割れ・目詰まりなどの異常がないことを確認してください。
4. ダイヤモンドホイール以外は使用しないでください。
5. 作業前や、ダイヤモンドホイールを交換されたときには、ダイヤモンドホイールを空転させ、機械の振動やダイヤモンドホイールの面振れなどに異常がないことを確認してください。
6. 超硬チップ以外のものを研磨しないでください。
7. 回転させたまま放置しないでください。
8. 水や研削液などをかけて使用しないでください。



注

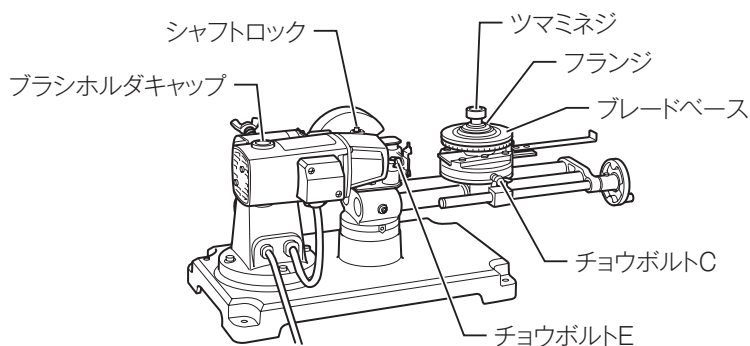
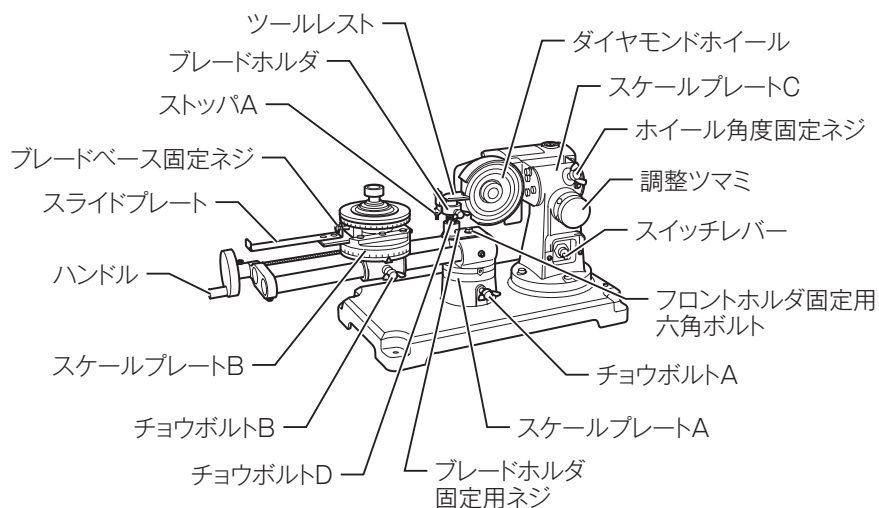
- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用する最大の長さ		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
0.75 mm ²	20 m	—	—
1.25 mm ²	30 m	15 m	10 m
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称



標準付属品

- ・ リング 15
(外径 16・19・20・25 mm) 各 1
※外径 25.4 mm のリングは本製品に取り付いています。
- ・ ツールレスト L
- ・ スリーブ 15
(外径 19・20 mm 兼用)
- ・ ドレッサストーン (# 600)
- ・ ストツパ B
- ・ ボックスレンチ 9
- ・ スパナ 10-13
- ・ ダイヤモンドホイール 80
(本製品取り付け)
- ・ アウタフランジ

別販売品のご紹介

- ・ ダイヤモンドホイール 80
粒度 # 325 部品番号 : A-20529
粒度 # 325N 部品番号 : A-17251
粒度 # 600 部品番号 : A-20535
- ・ ドレッサストーン (# 600)
部品番号 : A-24642
- ・ ブレードベースセット品
チップソー外径 80 mm ~ 115 mm
研磨用
部品番号 : 191832-7

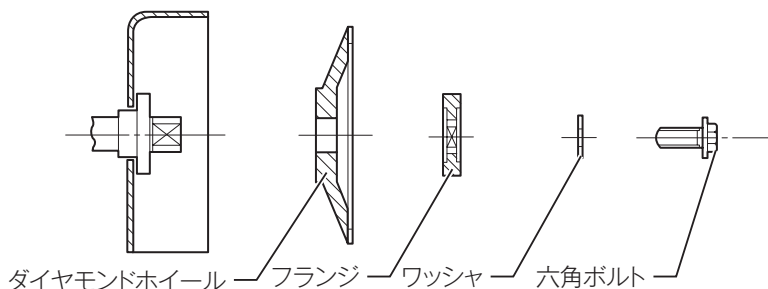
使い方

ダイヤモンドホイールの取り付け・取りはずし方

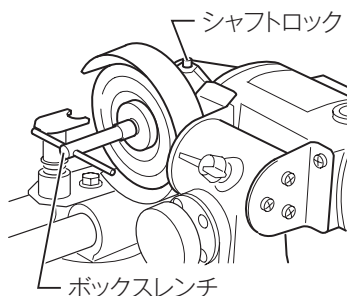
⚠ 警告

ダイヤモンドホイールの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 取り付け方は、スピンドルにダイヤモンドホイール→フランジ→ワッシャ→六角ボルトの順に取り付け、シャフトロックを押し付けながらボックススレンチで六角ボルトをしっかり締め付けてください。



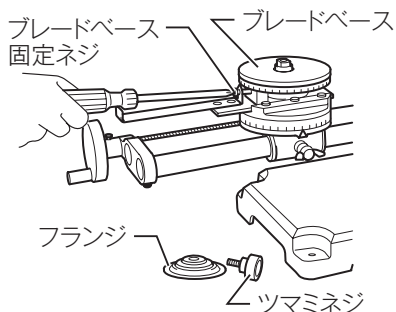
- ・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。



ブレードベースの高さ調整

(工場出荷時には、台金厚さ1.5 mm のチップソーを研磨するときの高さに合わせてあります。)

- ・ ツマミネジとフランジを取りはずし、ブレードベース固定ネジをゆるめ、ブレードベースを右に回して下がる所まで下げます。次にポイントをチップソーの台金の厚さに合わせてブレードベース固定ネジを締め付けてブレードベースを固定してください。

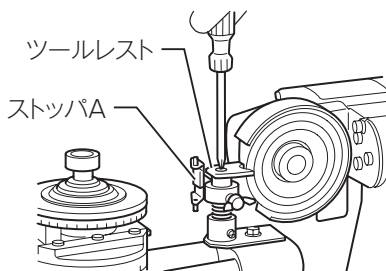


使い方

ツールレスト

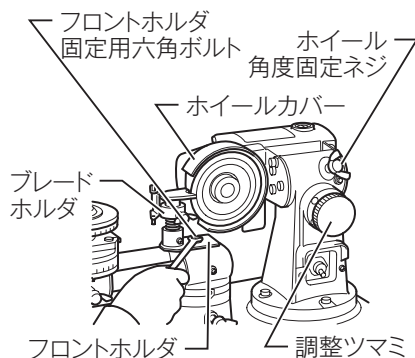
〈ノコ径 160 mm 以上の場合〉

- ・ ツールレストを取り付けているサラ小ネジをはずし、ツールレストとストッパAを取りはずしてください。ツールレストを元のように、サラ小ネジで取り付けてください。

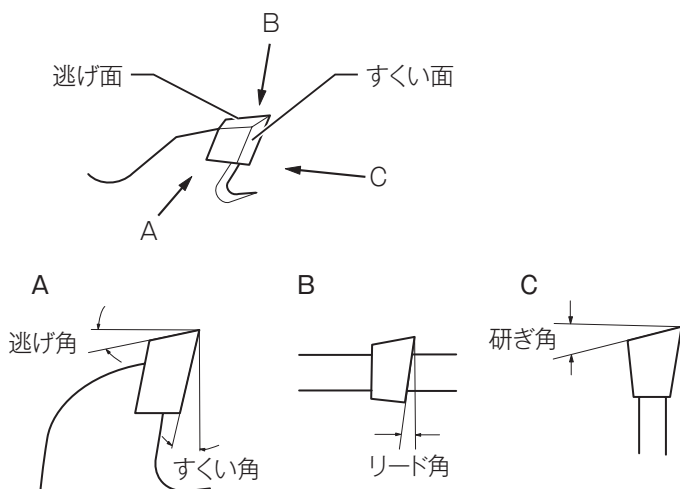


〈ノコ径 160 mm 未満の場合〉

- ・ ホイール角度固定ネジをゆるめ、調整ツマミを回してホイールカバーを前方に傾けて、フロントホルダ固定用六角ボルトをゆるめてください。フロントホルダ、ブレードホルダと共にツールレストを取りはずしてください。



刃先の諸角度



使い方

すくい面の研磨

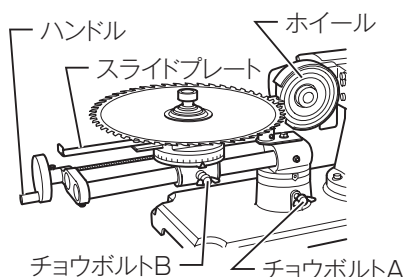
角度調整

- ・ チョウボルト B をゆるめ、ハンドルを回し、チップソーがホイールに接触しない位置にブレードベースを移動させてください。
- ・ ブレードベースにチップソーの内径に合ったリング・チップソー・フランジ・ツマミネジの順に取り付けてください。

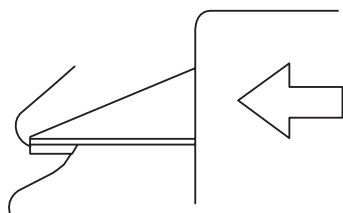
注

- ・ ツマミネジは、チップソーが回る程度に軽く締め付けてください。

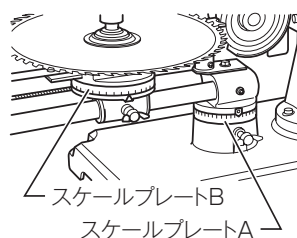
- ・ スライドプレート をホイール側に押し付け、チョウボルト A をゆるめ、ハンドルを回して、ブレードベースをホイールの方へ移動させてください。



- ・ すくい角が分からない場合は、ホイールにチップソーの研磨する面を合わせ、チョウボルト A・B を締め付けてください。



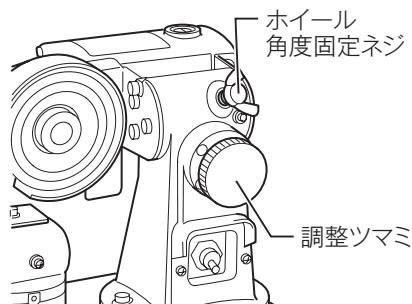
- ・ 次にチョウボルト C をゆるめ、スケールプレート B の目盛をスケールプレート A の同じ色の同じ目盛に合わせて、チョウボルト C を締め付けてください。



- ・ すくい角が分かっている場合、例えば 10° のときは、スケールプレート A・B の赤色の目盛を 10° に合わせ、チョウボルト A・C を締め付けて固定してください。

使い方

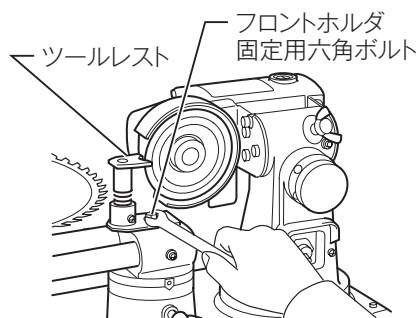
- ・ リード角がついている場合は、ホイール角度固定ネジをゆるめ、調整ツマミを回してリード角を合わせ、ホイール角度固定ネジを締め付けて固定してください。



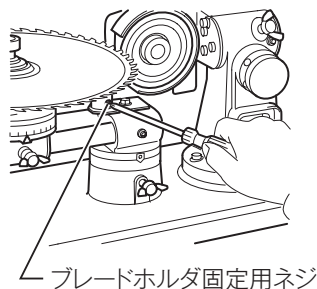
ツールレストの調整

- ・ チョウボルト B をゆるめ、ハンドルを回して、ブレードベースを後に移動させてください。

ツールレストを取り付けているサラ小ネジとフロントホルダ固定用六角ボルトをゆるめて、ツールレストをできるだけホイール研磨面に近づけ、サラ小ネジと、フロントホルダ固定用六角ボルトを締め付けてください。



- ・ スライドプレートホイール側に押し付け、ハンドルを回してチップソーのチップ部がツールレストに十分な位置までスライドベースを送ってください。
- ・ ブレードホルダ固定用ネジをゆるめ、ツールレストがチップ部に接触するようにしてブレードホルダ固定用ネジを締め付けてください。



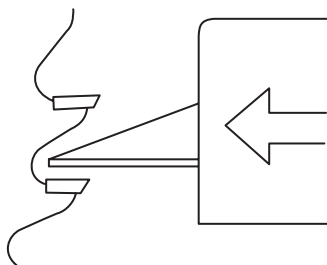
注

- ・ ツールレストが、ホイールに接触していないことを確認してください。

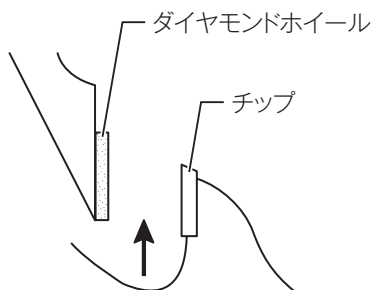
使い方

研磨方法

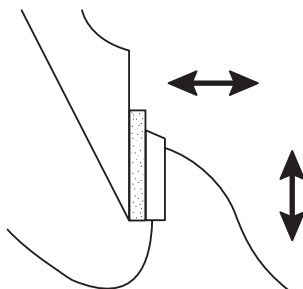
- ・ スライドプレートホイール側に押し付け、ハンドルを回して、スライドベースを移動させホール外周部と刃低との間にすき間ができるようにしてください。チョウボルト B を締め付けてください。



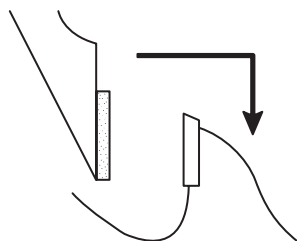
- ・ スライドプレートを手前に引き、スイッチを入れチップがホイールに触れないように前へ送ってください。



- ・ チップをホイールに軽く数回押し当てて研磨してください。チップがホイール面より長い場合は、軽く押し当て前後に動かしてください。

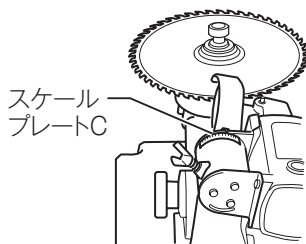


- ・ チップをホイールから離し、引き戻して次のチップに移ってください。

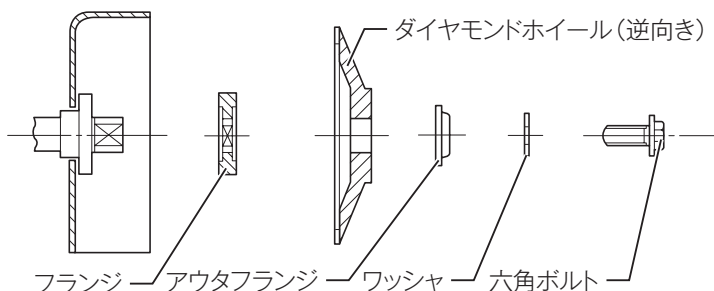


⚠ 注意

リード角のついたチップソーの場合は、一つおきに研磨してください。一方のリード角のチップの研磨後、リード角をスケールプレートCの反対側の目盛に合わせて再び一つおきに研磨してください。

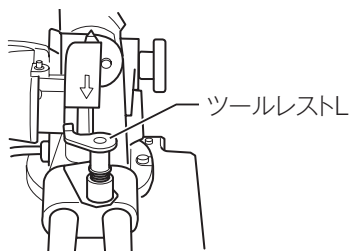


- ・チップをホイールに押し当てるときの力・回数を一定にして、一つ一つのチップを均等に研磨してください。
- ・チップソーの台金を研磨しないでください。ホイールが目詰りし、研磨性能が著しく低下します。
- ・すくい角が 15° 以上や、特殊な刃形（チップが長い場合など）の場合、チップソーが機体に接触することがあります。その場合は、先ず、ツールレストを取りはずしダイヤモンドホイールを逆向きにし、次の手順で取り付けてください。



次にツールレストLを取り付けてください。チップソーを裏がえしにしてブレードベースに取り付けてください。

- ・角度調整は、刃先角度が分かっている場合でも、角度が分からないときの作業手順に従ってください。ツールレストLは「ツールレストの調整」と同じ手順で調整してください。

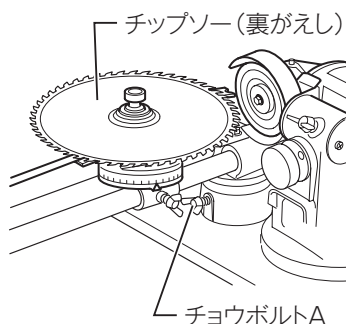


使い方

逃げ面の研磨

- ・ ノコ径 160 mm 以上の場合は、チップソー・ツールレストを取りはずし、ブレードホルダにストッパ A をはめ込み、再度ツールレストを取り付けてください。

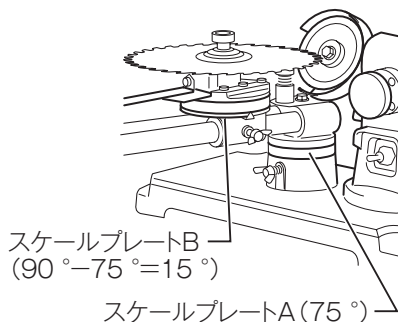
次にチップソーをすくい面研磨のときの逆（裏がえし）にブレードベースに取り付けて、チョウボルト A をゆるめ、ブレードベースを図のような位置に移動させてください。



⚠ 注意

すくい面研磨のときにホイールを逆向きに使用したときは、ホイールを正規の位置に戻し、チップソーはすくい面研磨と同じ状態にセットしてください。

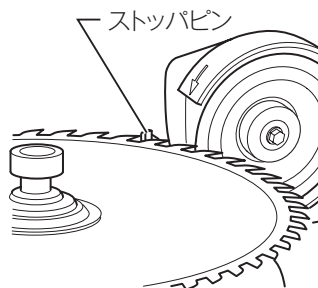
- ・ 逃げ角が分からない場合の角度調整は、すくい角の研磨を参考に行ってください。
但し、スケールプレート B の赤色の目盛を 90 ° スケールプレート A の目盛に合わせてください。



- ・ 逃げ角が分かっている場合は、スケールプレート A の黒色の目盛を 90 ° - 逃げ角に、スケールプレート B の赤色の目盛を逃げ角に合わせてください。
- ・ 研ぎ角がついている場合は、リード角がついている場合と同じ手順で調整してください。
- ・ ツールレストを「ツールレストの調整」と同じ手順で調整してください。

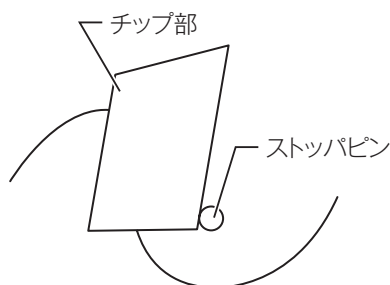
使い方

- ・ チョウボルト D・E をゆるめ、ホイールに逃げ面を合わせ、ストツパピンを研磨する刃の左 1 ～ 2 枚目のすくい面に図のように合わせ、チョウボルト D・E を締め付けて固定してください。



注

- ・ ストツパがホイールなどに接触するときは、ストツパを反転して取り付けてください。



研磨方法

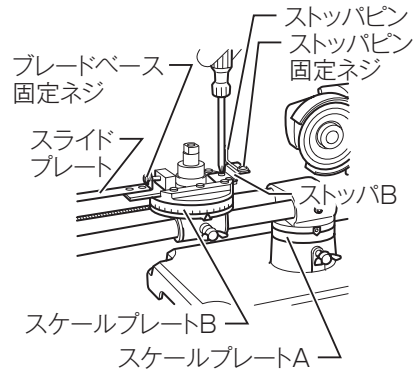
- ・ スライドプレートを手前に引き、スイッチを入れてください。
- ・ ストツパをすくい面に沿わせてチップをホイールに軽く数回押し当てて研磨してください。
- ・ チップソーを手前に引き、次のチップを研磨してください。

注

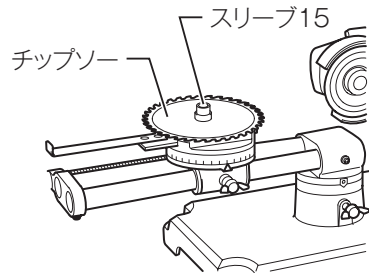
- ・ 研ぎ角のついたチップソーの場合は、一つおきに研磨してください。一方の研ぎ角のチップの研磨後、研ぎ角を反対側の目盛に合わせて、再び一つおきに研磨してください。

使い方

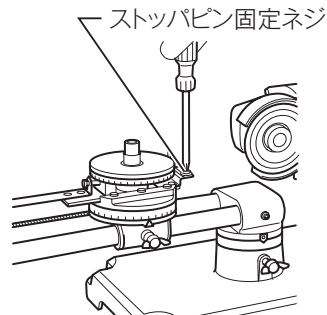
- ・ ノコ径 160 mm 未満の場合は、ブレードベース固定ネジをゆるめ、ブレードベースを左に回して取りはずし、スライドプレートにストップBを取り付け、ブレードベースを取り付けて高さを調整してください。



- ・ 次にストップピン固定ネジをゆるめ、ブレードベースにスリーブ 15を取り付け、チップソーをはめてください。
- ・ 逃げ角の角度調整（研ぎ角がついている場合は研ぎ角も）を「ノコ径 160 mm 以上の場合」と同じ手順で行ってください。



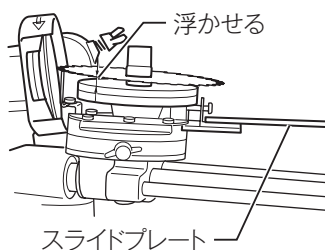
- ・ ストップピンをストップAと同様に調整したら、一度チップソーを取りはずし、ストップピン固定ネジを締め付け、再度チップソーを取り付けてください。



使い方

研磨方法

- ・ スライドプレートを手前に引き、スイッチを入れてください。
- ・ すくい面をストップピンに沿わせて、チップをホイールに軽く数回押し当てて研磨してください。
- ・ チップソーを手前に引き、前方を浮かしてからチップソーを回し、次のチップを研磨してください。

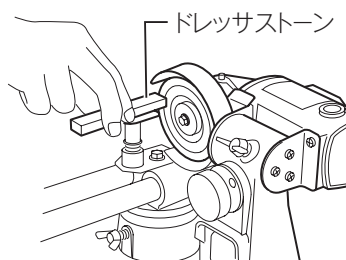


注

- ・ 研ぎ角のついたチップソーの場合は、一つおきに研磨してください。一方の研ぎ角のチップの研磨後、研ぎ角を反対側の目盛に合わせて、再び一つおきに研磨してください。

ドレッシング（目出し）

- ・ ダイヤモンドホイールは、目詰りすると研磨能率が悪くなりますので、ドレッシングしてください。
- ・ ドレッシングは、ドレッサストーンを空転しているダイヤモンドホイールに数秒間軽く接触させて行ってください。



注

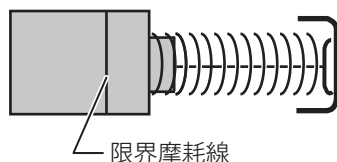
- ・ ドレッサストーンが回転するホイールに巻き込まれないようにしてください。

⚠ 警告

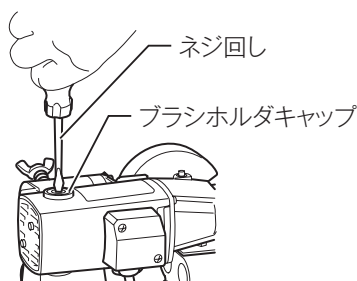
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

カーボンブラシの交換

- カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



- ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2コで1組になっております。
取り替える場合は、必ず両側とも行ってください。



注油

- 作業後は、研磨粉などをふきとり、摺動面に油をさしてください。

修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881437H8
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）